

秋田県内市町村の定住自立圏構想への取組状況（平成25年4月1日現在）

1. 定住自立圏構想とは

中心市と近隣の市町村が、それぞれの魅力を活用して相互に役割分担し、連携・協力することにより、地域住民のいのちと暮らしを守るため、地方における定住の受け皿として「定住自立圏」を形成し、圏域全体で必要な生活機能を確保しようとする取組。

2. 定住自立圏形成の手續



3. 県内の取組状況（平成25年4月1日現在）

秋田県では、中心市の要件を満たす7市のうち、次の4市と小坂町において取組が行われている。

	中心市	その他の構成市町村	形成日時	主な取組
大館市定住自立圏	大館市		H22. 3. 15	・公共交通ネットワーク構築 ・高度・救急医療体制の整備 ・学校給食への地元食材の導入 等
由利本荘市定住自立圏	由利本荘市		H22. 3. 19	・病院群輪番制病院運営事業支援 ・地域創造型ミニデイサービス ・応援除雪 等
横手市定住自立圏	横手市		H23. 3. 22	・休日夜間の病院輪番制 ・公共交通の確保 ・特産品の開発・販路拡大 等
湯沢雄勝地域定住自立圏	湯沢市	羽後町、東成瀬村	H23. 3. 28	・休日急患診療所運営 ・新規観光ルート開発 ・地域おこし協力隊活用 等
上十三・十和田湖広域定住自立圏	十和田市 三沢市	野辺地町、七戸町、六戸町、横浜町、東北町、六ヶ所村、おいらせ町、小坂町	H25. 3. 28	・十和田湖診療所の運営 ・保育所広域入所に関する連携 ・災害時の消防出動相互応援 等